広報紙

わたしの おぎくぼ

2019
6月・7月
No.339
5月28日発行

発行：荻窪地域区民センター協議会　〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20　☎3398-9127　FAX 3398-9128
ホームページ　http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/

荻窪地域区民センター　杉並区荻窪2-34-20　☎3398-9125　【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28〜1/4
本天沼区民集会所　杉並区本天沼2-12-10　☎5310-4633　【休館日】第1・3月曜日・12/28〜1/4

来て！ 見て！ 体験して！ 楽しもう!!

おぎくぼセンター祭

6月22日(土) 10:00〜16:00
6月23日(日) 10:00〜15:30

子どもからお年寄りまで、みんなが楽しめるものが いっぱいそろっています!!

杉並の野菜直売

プラネタリウム

★模擬店・物販

- ●コーヒー・ソフトドリンク・綿あめ・ポップコーン・冷やししるこ・焼きそば・かき氷・ドーナツ・団子ほか
- ●杉並の野菜直売・生花販売・低木の苗配布(限定200個)・包丁研ぎ・手工芸品ほか

★体験・展示

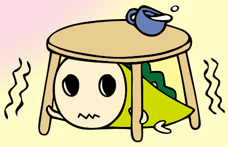
- ●プラネタリウム・防災クイズ・交通安全クイズ・バルーンアート・折り紙教室・缶バッジ・スタンプラリーほか
- ●消費者センター・エネルギー協会・警察・消防・保健所ほか

★舞台パフォーマンス

- ●荻小ソーラン・桃二小合唱・松溪中吹奏楽・ネパール民族舞踊
- ●落語(子ども・大人)・郷土芸能・日本舞踊・和太鼓ほか
- ●カンツォーネ・フラダンス・軽音楽演奏ほか

合唱・合奏

防災クイズ



会場：荻窪地域区民センター(荻窪2-34-20)電話03-3398-9127／主催：荻窪地域区民センター協議会

これからのスケジュール

6月

●5日・12日・19日・26日(水)
「リズム&ストレッチ教室」

●8日(土)
「初夏のハンギングプランター作り」

●15日(土)
「元外交官が語る東京2020オリンピックの舞台裏」

●22日(土)・23日(日)「おぎくぼセンター祭」

●27日・7月4日・11日・18日(木)
「現代の短編を読む 村上春樹、重松清、山田詠美、川上弘美」

7月

●16日(火) 広報紙「わたしのおぎくぼ」
8月・9月号発行

●28日(日)「はやぶさ2の挑戦 〜リュウグウからの玉手箱〜」

8月

●2日・9日・23日・30日(金)
「ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング」

●17日(土)「天皇の即位儀礼はどのように創られてきたか」

●24日(土)「講談鑑賞会」

9月

●24日(火) 広報紙「わたしのおぎくぼ」
10月・11月号発行

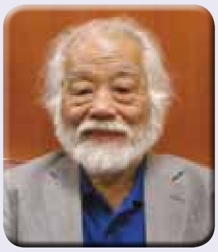
10月

●20日(日)「本天沼集会所まつり」

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※会場が明記されていないものは全て、会場は荻窪地域区民センターです。
※問い合わせ先：●事業企画部　●地域交流部　●CC部　●広報部　●総務部

この街にこの人あり

荻窪の魅力を発信!! 創刊55周年、杉並のタウン誌「荻窪百点」



松葉 襄さん

「荻窪百点」は隔月発行の「荻窪発信の杉並のタウン誌」です。みなさんも、店舗などで見かけて読んだり、貰ったりしたことがあると思います。「荻窪百点」の編集発行人である松葉襄さんにお話を伺いました。

■プロフィール

松葉家の先祖は江戸に住む徳川の御家人でしたが、牧師を業とする父が戦時中に中島飛行機に徴用されたことがきっかけで、荻窪の住民となりました。私は桃二小に入学し、井荻中では仲間とともにサッカー部を創設したことが思い出されます。社会人になってからは本格登山に熱中し、何度か危険な状況に遭遇しました。冬山の生死を分ける山行で、異なる意見をまとめる説得力を学んだ経験が、その後の仕事にも役立っていると思います。

■農業誌からタウン誌へ

社会人になった頃は大手出版社の仕事をしていましたが、父が農業全国誌「明るい生活」を創刊したので、その編集に携わりました。私は農業誌より地域情報誌に魅力を感じ、昭和40年に、当時ベッドタウン化が進む荻窪で、タウン誌「荻窪百点」を創刊しました。以後、55年間で327号を数えます。

現在、発行部数は10,000部。誌面の一部に会員の広告を掲載していますが、会員は企業の支店やチェーン店が増え、古くからの個人店が減りました。街の移り変わりが会員構成からも読み取れます。

■荻窪の魅力を発信

「荻窪百点」が長く継続できているのは、荻窪の街に魅力を感じる読者が多いことに加え、私自身も荻窪が好きだからだと思います。「荻窪百点」には荻窪の魅力を選んで掲載するようにしています。正しい情報を伝えることは大切で、写真を撮り続けていますが、撮り続けた写真約15,000枚は今後に役立つと思います。また、井伏鱒二氏が「荻窪風土記」を執筆された際には、私も関わり、様々な荻窪の情報を提供したりしました。

「荻窪百点」326号の〈特集〉では荻窪地域区民センター協議会の設立40周年記念キャンペーン／「愛称を公募で『荻外荘通り』」を取り上げましたが、これからも、地域のその時々の話題を取り上げ、荻窪の魅力を発信し、「荻窪百点」を発行していきたいと思います。

(株)明るい生活社 荻窪百点
〒167-0043 杉並区上荻1-18-3 亀屋酒販第2ビル311 ☎3391-5114
Eメール　info@ogikubo100ten.co.jp

令和元年度の定期総会が開催される

5月10日（金）、荻窪地域区民センターにおいて同センター協議会の令和元年度の総会が開かれました。来賓の方々をはじめ町会や商店会、地域団体の代表など、約80名が出席、檜枝新会長の挨拶に続き、平成30年度の事業・決算報告と令和元年度の事業計画・予算案が承認され、新しい協議会委員10名が承認・紹介されました。

また、総会終了後の感謝状贈呈式では、出席された田中杉並区長より、3月で任期を終えた前委員一人ひとりに感謝状・礼状が贈呈され、ご祝辞を頂きました。

協議会の委員（◎：部長、◯：副部長） 令和元年5月10日現在

役職・所属	氏　名	住　所
会長	檜枝光太郎	荻　窪
副会長	丹羽　健雄	宮　前
	染谷　貞夫	天　沼
会計監事（2名）	加藤　俊也	荻　窪
	伊藤　佳江	荻　窪
（経理担当）総務部（4名）	◎中田あつ子	荻　窪
	矢島　正信	天　沼
	大矢　正男	荻　窪
	船津まさ子	宮　前
地域交流部（6名）	◎丹羽　健雄	宮　前
	◯伊藤　節子	南荻窪
	石井　　徹	荻　窪
	漆原はる子	天　沼
	今野美代子	荻　窪
	高橋　昭浩	荻　窪
事業企画部（7名）センターカレッジ部（兼務）	◎染谷　貞夫	天　沼
	◯萩原　伸一	荻　窪
	牧絵　正明	荻　窪
	松崎茂一郎	宮　前
	南　　秀郎	上　荻
	常定　曠子	宮　前
	本田　良夫	天　沼
広報部（3名）	◎横尾　耕一	荻　窪
	中田　悦子	荻　窪
	茂木愛一郎	天　沼

事務局の職員

役職・所属	氏　名	住　所
事務局長	佐藤　秀行	—
職　　員	岩井　智子	—
	広谷　光紗	—

第5回
「荻窪の記憶」こぼればなし

武蔵野のかけら

筆者はよく自転車に乗って武蔵野のかけらを探しにいく。それはケヤキの大木だったり、雑木林の名残りだったり、宅地に囲まれた畑だったりする。それらを「かけら」と呼ぶのは武蔵野の大部分が東京に呑み込まれ、あらかた姿を消してしまったからだ。

「武蔵野はめまぐるしく変貌する（略）それだけにまた、古い武蔵野の面影を伝へるものは、路傍の石地蔵にしても、風除けの樹木に囲まれた藁屋根にしても、よけい心ひかれるのである」（「武蔵野をたずねて」）

と、天沼に住んでいた作家・上林暁が書いたのはいまから60年前のことだが、上林が懐かしみ、国木田独歩が愛した雑木林の武蔵野も見方を変えれば「変貌」する「貌」の一つだったといえるかもしれない。

なぜなら、中世までの武蔵野台地は見渡す限りススキやカヤの原だったが、江戸時代に入って入植した人々が火山灰に覆われた不毛の大地にクヌギやコナラを植えて落葉樹の林を育て、落ち葉を集めて堆肥をつくり、繰り返し畑に撒いて土壌を改良し、緑の武蔵野を作り上げたからである。

「青葉の頃其林中に入りて見よ。葉々日を帯びて、緑玉、碧玉、頭上に蓋を綴れば、吾面も青く、もし仮睡（うたたね）せば夢又緑ならむ」（『自然と人生』）。

明治の終わりに武蔵野に移り住み、自ら農耕を行った徳富蘆花の言葉だが、青葉の季節、皆さんも身近な武蔵野のかけらを見つけ、緑の夢を見てはいかがでしょうか。

「荻窪の記憶」プロジェクト　松井和男

早春の畑と屋敷林（上高井戸）

新緑の蘆花恒春園

イベント報告

荻窪地域区民センター協議会設立40周年記念行事

荻窪地域区民センター協議会は設立40周年を記念し，3月16日（土）に荻窪地域区民センターにて岩松研吉郎氏の記念講演「磯野家の危機～サザエさんからのメッセージ～」や、記念式典「道の愛称表彰式」などを実施しました。続く3月23日（土）には杉並公会堂にて「記念コンサート」を開催しました。いずれのイベントも盛況のうちに滞りなく終了しました。（イベントの詳細報告は「40周年記念報」をご覧ください）

記念講演

記念コンサート

40周年記念報

講座紹介

元外交官が語る東京2020オリンピックの舞台裏

元駐フランス大使、ロシア大使の齋藤泰雄氏は2013年から日本オリンピック委員会（JOC）の常務理事、17年から副会長。昨年の平昌冬季五輪では日本選手団の団長を務め、外交官の経歴を生かし国際オリンピック委員会（IOC）や各国のオリンピック委員会との調整を担いました。こうした経験を踏まえ、東京2020五輪の意義や期待とともに、折衝の舞台裏を分かりやすく解説していただきます。

★日時：6月15日（土）午後1時半～3時　★講師：齋藤泰雄元大使
★場所：荻窪地域区民センター 第1、2集会室
★申込締切：6月3日（月）　★定員：50名

（詳細はP4の「講座のご案内」をご覧ください。）

齋藤泰雄氏

講座のご案内

講座名	内容・講師	開催日・時間	定 員	参加費	申込締切
元外交官が語る 東京2020オリンピックの 舞台裏	元外交官の経歴を生かし国際オリンピック委員会(IOC)などとの折衝に当たってきた体験をもとに、東京2020オリンピックの舞台裏を分かりやすく解説していただきます。 齋藤泰雄(日本オリンピック委員会副会長)	6月15日(土) 午後1時30分～3時	50名	200円	6月3日(月)
現代の短編を読む	村上春樹、重松清、山田詠美、川上弘美の短編を鑑賞し、それぞれの作家の文学性を探ります。 生田美秋(高志の国文学館事業部長)	6月27日、7月4日・11日・18日の4回(各木曜日) 午後1時30分～3時30分	20名	300円	6月9日(日)
はやぶさ2の挑戦 ～リュウグウからの玉手箱～	地球から3.4億キロ離れた小惑星「リュウグウ」で探査機「はやぶさ2」が岩石採取や人工クレーター作製など大活躍しています。どんなお土産を持ち帰ってくれるのか、大いに期待されます。 澤岡昭(大同工業大学名誉学長、JAXA研究総括)	7月28日(日) 午後1時30分～3時30分	50名 小学校低学年以下は保護者同伴	200円	7月7日(日)
ハーモニーを楽しむ ヴォイストレーニング	喉や舌の使い方を学び、お腹を使った正しい発声を身につけると心地よい歌声になります。皆さんで美しい合唱を楽しみましょう。 安藤操(ヴォイストレーナー)	8月2日・9日・23日・30日の4回(各金曜日) 午後1時30分～3時30分	50名	200円	7月14日(日)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに〈一人一枚〉 ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ
〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 (申し込み多数の場合は抽選です。)

桃二小の新校舎が完成

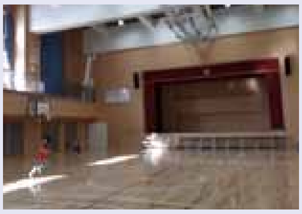
桃二小のシンボルとして愛されている「白旗桜」が満開の4月8日、在校生と94名の1年生を迎えて、新校舎の運用が始まりました。引き続き、旧校舎の解体、グラウンドの造成等を行い、今年度末には校庭全体が一新される予定です。また、新校舎内に学童クラブと放課後等居場所事業の拠点となる多目的室が併設され、放課後に校外に出ずに、安全に過ごせる環境も整いました。なお、6月に新校舎の落成式、12月には90周年の式典と祝賀会が予定されています。

桃二小は、荻窪駅南口の商店街を10分ほど歩いたところにあり、「進んで学ぶ子ども」「進んで体をきたえる子ども」「なかよく助け合う子ども」を教育目標に掲げ、子ども達は安心してのびのびと元気に学校生活を送っています。早朝合唱合奏クラブや、PTA（桃友会）と学校支援本部（ももにわ）による「朝にわ」「土曜学校」の活動、「おやじの会」や野球・サッカーチームなどの活動も盛んです。

新年度と新校舎、そして新元号「令和」。子ども達にとって希望に満ちた学校生活になることでしょう。

新校舎外観(荻窪橋から撮影)

空調も完備した明るい教室



広くなったアリーナ(体育室)

郷土博物館分館 区民参加型展示
問い合せ：☎5347-9801

西棟2階展示室

写真家・高橋昌嗣がみた“文士の逸品”
～杉並ゆかりの文士たち～

写真家・高橋昌嗣氏が作家と共に重ねた文士たちの「逸品」を訪ねる旅。この取材活動で撮りためた写真作品は『文士の逸品』という一冊の本にまとめられました。

分館では、この著書から「杉並ゆかりの文士」である井伏鱒二、与謝野晶子、太宰治らのほか、作者が推薦する文士の「逸品」を紹介する写真展を開催します。

【開催期間】
4月20日(土)～7月7日(日)
【トークショー】
6月1日(土)午後2時から
講師：高橋昌嗣(写真家)・矢島裕紀彦(作家)
場所：郷土博物館分館　西棟2階展示室
写真作品を鑑賞しながら「逸品」の魅力について、二人三脚で重ねた取材の裏話、企画の誕生秘話などを交えてお話いただきます。

西棟1階展示室

杉六小の“博物館”
～学校と地域のたからもの～

【開催期間】
3月23日(土)～6月30日(日)

【展示ガイド】
6月8日(土)午後2時から

【共通】
●場　所：杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1 天沼弁天池公園内)
●開館時間：午前9時～午後5時
●休 館 日：毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)
●観 覧 料：無料

＊「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。
FAX番号：3398-9128

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の日程
6月25日(火)　午後1時～　会場：第1・2集会室
7月30日(火)　午後1時～　会場：第1・2集会室
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。